

僕とケアニンとおばあちゃんたちと。上映会事例

<生活クラブ生活協同組合 様>

上映日：2023年07月01日(土) 場所：札幌市民ホール 第2会議室(北海道札幌市中央区)



豊かな地域づくりに繋がる作品。とにかく、やってよかったです。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

生協として福祉に取組み30年、デイサービス事業を開始して20年が経ち昨年デイサービスを閉所しました。ますます厳しくなる少子高齢社会の中で、地域に必要な助け合いとは？福祉とは？を組合員が考え、次の展開を模索するため企画しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

地域の掲示板や組合員へのチラシ配布です。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

映像を観ながら笑いがたくさんあり、観終わった後は涙を流されている方が何人もいらっしゃいました。「想像していたのとは全く違ったけど、とてもよかった」「理想とする介護の姿を観た」「利用者、スタッフの笑顔に感動。認知症になったらこんなところで過ごしたい」「通常の暮らしの中に介護はあるのだと感じた」「それぞれの役割が興味深く、会話が面白く楽しそうで皆さん幸せそう」「一人一人の個性に合わせてケアしている力がすばらしい」等、感想を沢山書いていました。

福祉の企画は人が集まりづらい印象でしたが、今回の上映会は反響がすごく良く、予定を上回る130名以上の来場者にお越しいただきました。また映画の内容も福祉を知らない方でも見やすい内容で良かったです。

●今回の活動を通じて、地域作りに繋がったエピソード等があれば教えてください。

閉鎖したデイサービスの場所を使って、「ここで地域に必要なことをやりたい」と地域に働きかけながら上映会を開催したところ、元気な地域の人たちが関心を持って参加してくれました。現在、デイサービスを行っているワーカーズは、これしかできなと思っていたが新たなことにチャレンジしたい！とわくわくして利用者さんとスタッフがケアニンのような関係性を気付けることを考えだしました。

●上映会を開催してみたいかがでしたか？

とにかく、やってよかったです。感想を直接聞くと、介護現場で働いている人は「理想のかたち」といい、親の介護経験者は「こうすればよいのだ」と気付き、これからどう考えて進んだらよいかと企画した私たちは「誰もが、笑顔で幸せに生きるために」を考えて皆が家族の地域づくりが一番だと思いました。

この映画からは、気張らず・自然に生きることが伝わり誰もが素直な気持ちになるので、本当の自分の気持ちややりたいことを引き出してくれるのだと思いました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

本当の幸せって何だろうに気付くドキュメンタリー映画です。豊かな地域づくりに繋がると思うので、たくさんの方に観てもらってください。

<生活クラブ生活協同組合 >
40年以上前に市販の卵の安全性に疑問をもった消費者たちが作った共同購入団体が母体となって出来た生協で主に共同購入を行っています。